

## 学校支援を積極的に進める

### 地域と協力し、学校支援を行う P T A 活動

尾張旭市立三郷小学校 P T A

#### 1 はじめに

三郷小学校は、尾張旭市の東部に位置し、児童数 513 名、学級数 20 学級（うち特別支援学級 3 学級）の中規模校である。

本年度、創立 40 周年を迎えた本校は、父母に本校出身者が少なくなく、学校教育や行事への関心が高く協力的である。

地域と昔からのつながりがある家庭も多く、P T A の活動への協力が得やすい地域でもある。



【桜の咲く頃の正門からの様子】

#### 2 研究への取組

##### (1) 研究のねらい

本校の P T A は、学校行事だけでなく地域の行事の運営にも積極的に関わり、児童や家庭が地域行事に参加しやすい土壌作りを行っている。

地域自治会や校区社会福祉協議会では、役員として P T A 会長・副会長が会議に参加し、行事の運営に携わっている。

また、学校後援会の役員には、P T A 役員や地域自治会の役員、学校職員が名を連ねており、顔を合わせる機会も多い。そのため、学校や保護者の声を地域に届けやすく、地域の声も学校に届きやすい。

地域の方から、児童の登下校中の様子や地域での様子を知らせていただくことも多い。

令和元年度末より新型コロナウイルス感染症のため、例年行っている行事が計画通りに実施できなかつたり、実施ができなかつたりの状況が学校・地域共に続いている。

今後は地域と学校が協力して新たな生活様式に則った取り組みを行うことが必要となると考える。

そこで、令和元年度までの取り組みも含め、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえながらまとめることとした。

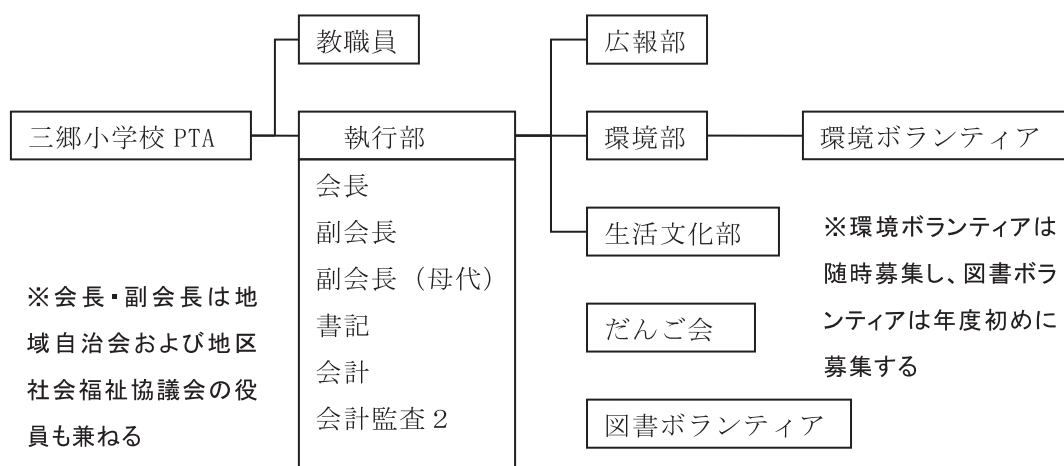
##### (2) P T A の組織

本校の P T A は保護者より執行部役員 7 名と学年委員（各学年学級数 × 2 名）が代表として、教職員より校長・教頭・教務主任・校務主任が代表として参加運営の中心となっている。

学年委員は広報部・環境部・生活文化部に分かれ、各部に部長と副部

長を設けている。

執行部役員のうち、男性副会長は次年度の会長となり、女性副会長は母親代表の役割を担う。書記は次年度の副会長（母親代表）となる。



### 3 実践活動の概要

#### (1) 執行部・役員活動

学校行事やPTA行事の計画や運営のために年に4回の執行部会と全委員会を行い、学校行事や地域の行事に積極的に関わることができるようにしている。執行部役員や学年役員は、学校行事やPTA活動の担当を決め、それぞれ1年間活動に取り組む。

令和2年度からは、オンライン会議の実施や会場を体育館に変更してのソーシャルディスタンス会議を実施。

#### (2) 各部の活動

##### ① 広報部

PTA学校新聞を発行するための取材や編集をし、年間3回のPTA新聞の発行を行っている。学校担当者は教務主任が担い、担当役員との情報交換や校正印刷会社への依頼を行う。

##### ② 環境部

学校花壇の維持管理や育苗、夏季休業中の花壇への散水等を行う。

学校担当者は校務主任が担い、担当保護者との作業の日程調整や依頼を行う。



【苗用のポット作りをする様子】

##### ③ 生活文化部

児童の安全を守るための活動として、毎月ゼロのつく日に担当地域での登校の見守りを行っている。また、年に一度通学路の安全点検を実施し学校と相談して、危険箇所の改善に向けた要望書を作成し、市に報告を行っている。

生活文化部では年度初めに生活文化部員の中で学級長を決め、市の

生涯学習課と連携して家庭教育学級を主催している。家庭教育学級では、学校長や地域在住の講師を招き、家庭生活や子育てに生かすことのできる講話を聞いたり、季節の飾りの制作を行ったりしている。

令和2年度からは、実施の回数や参加人数の制限を行い実施している。

(3) だんご会（P T A父の会）の活動

本校には、P T A父親の会である「だんご会」がある。在校生の父親だけでなく、卒業生の父親も会員として活動に加わり、学校行事への協力や地域行事への積極的な参加を行っている。また、だんご会が企画したP T A行事もさまざま行っており、親子での参加を楽しみにしている家庭も見られる。



【運動会では自転車整理を担当】

令和2年度からは、屋外での行事のみを実施している。



【年末に実施する親子門松作りでの様子】

(4) P T Aボランティアの活動

① 図書ボランティア

年度の始めに参加希望者を募り活動を行っている。6月に実施する「あじさい読書週間」や10月に実施する「もみじ読書週間」での児童へ読み聞かせ、本をたくさん読んだ児童に贈る多読賞のしおりの作成、図書室内の掲示物の作成を主な活動としている。

例年は各教室に出向いて読み聞かせを行っているが、コロナウイルス感染症の影響で、昨年度は事前に校内で撮影した読み聞かせ動画を各学級で視



【図書ボランティア読み聞かせ】

聴し、本年度はZoomによる読み聞かせ中継を実施し好評をえていた。

② 環境ボランティア

環境部が行っている作業のうち、苗の移植や花壇への定植など時間や労力を要する作業についてはP T A役員環境部以外の会員から参加を募り、環境部員と共に作業を行っている。

## (5) 地域との連携

### ① あいさつ運動

執行部および役員は年に3回行われる「地域のおじさんおばさん運動」に参加し、地域の方々とともに児童の登校の見守りと挨拶運動を行っている。地域からは自治会役員・社会福祉協議会役員・民生委員が、市からは少年センター職員等が参加している。



【地域のおじさんおばさん運動】

### ② スクールガード

P T A役員や保護者の他に、地域のシニアクラブ3団体や更生保護女性会、民生委員・児童委員、P T AのO B、地域の有志がスクールガードとして児童の登下校の見守りをしてくださり、通学団での集合時刻に間に合わなかった児童の登校への付き添いや、気がかりな児童への声かけを行っている。

### ③ 地域連携事業(ふれあい子ども会議、三郷小キッズニア：R元年度)

#### ア ふれあい子ども会議

児童会役員、学級委員、地域自治会長、校区社協会長、P T A役員、教員が参加し、テーマにそって話し合い、実行に移せることを考えた。第1回のテーマは「愛される学校をめざして～地域の人とともに、自分たちができること～」であった。



【ふれあい子ども会議の様子】

#### イ 三郷小キッズニア

三郷南部発展会の主催による地域の子どもたちの職業体験事業。市内から17業者が賛同し、地域商工業の発展と青少年育成の目的に開催することができた。だんご会も協賛し、体験ブースを設置した。

約100名の児童が参加し、職業体験をすることで、地域の人との交流を深め、仕事への興味関心も深めた。



【三郷小キッズニアの様子】

## 4 おわりに

子どもたちが安心して登校し、充実した学校生活を送るためには、地域との連携や協力は、欠かすことができない。今後は感染症対策をしながらも、地域とより多くの関わりを持つことができる方法を考えていきたい。